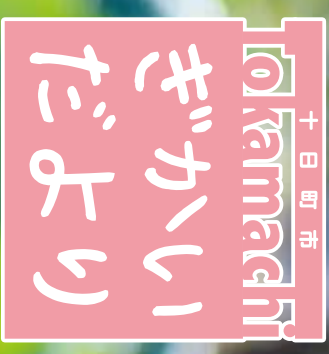


晴れのち



令和5年5月10日発行

CONTENTS No.77

予算審査特別委員長報告	2-3P
一般質問	4-10P
政務活動費	10P
議会をPick-Up!	12P
議案の審議結果	13P
議会レポート	14P

(写真：十日町高校写真部)

令和5年度 市の予算

一般会計

342億500万円

前年度対比 ▲25億6,500万円 (▲7.0%)

一般会計 及び 特別会計

479億5,590万円

前年度対比 ▲25億6,250万円 (▲5.1%)

国保	48億700万円	△1億2,800万円
診療所	1億7,350万円	△3,450万円
訪問看護	4,500万円	+1,020万円
後期	7億1,800万円	+3,000万円
介護	79億8,700万円	+1億2,200万円
温泉	2,040万円	+280万円

137億5,090万円

+250万円 (前年度対比)

令和5年度予算を可決

予算審査 特別委員長報告

令和5年度予算審査特別委員会に付託されました、議案第40号から議案第49号までの、一般会計、特別会計および水道事業会計、合わせて10件につきましては、3月10日に特別委員会を設置し、さらに3つの分科会ごとに詳細に審査したところであります。

審査結果は、10件とも原案可決であります。予算審査特別委員会、正副主査会議において、特に分科会から出された意見、要望について何点か申し上げます。



予算審査特別委員長
福崎 哲也 議員

一般会計

歳入 3年にも及ぶコロナ禍

により、地域経済は現下の物価高騰・円安により更に深刻な打撃を受けている現状にあり、今後、一般財源の減少が見込まれる状況にあることから、事業計画の十分な検討を行うことを望みます。また、住民が日常を取り戻し、地域経済を活性化していくため、その裏付けとなる財源確保に向けて、地元産品だけでなく、当市の持つ歴史・伝統文化・豊かな自然を生かした体験型の商品など、地域内外のアイデアを結集し、「とおかまち応援寄附金」の増収に向けた取組強化を望みます。

民生費 高齢者が増え続ける中で、元気に住み続けられるよう生活していくためのさまざまなサポートが必要となります。住民による生活支援活動促進のためにも、高齢者・障がい者安心サービス事業を全市に展開し、支援の地域格差が生じないよう取組みを望みます。

次に、通園バス、置き去り防止装置設置事業について、装置設置だけでなく、子どもたちにも緊急時の教育を行い、置き去り防止に努めていただきたい。また、さらなる園児の事故防止



令和5年度一般会計予算採決の様子 (3月27日)

のため、保育士等の負担軽減を考慮した職員体制の充実を望みます。

衛生費 2025年市内電力消費量のうち、30%を再生可能エネルギーで創出する取り組みは二酸化炭素の削減にも貢献できる事業として理解しています。費用対効果の検証を見誤らないようにしながら、少しギアを上げて取り組んでほしい。各会議における庁舎間の車移動を抑制するため、オンラインでの会議を増やす努力をするなど、ゼロ



カーボンシティに向けた取り組みを望みます。なお、太陽光パネルの設置場所の選定においては、借地などの面も考慮して取り組まれることを望みます。

土木費 市道全般に補修が必要な損傷箇所が見えます。維持管理には市民要望も多いので、さらなる増額予算の確保に努め、安心安全な往来を確保するように求めます。

教育費 中学校部活動の地域移行について、受け入れ可能な定員数が現在の部員数に満たないことや、家庭環境によって送迎対応ができない児童・生徒がいることなど、スタートから全ての対象者が以前と変わらず部活動に励めなくなることが想定されます。試行期間でこういった問題点をなくすよう、しっかりとした検証をお願いするとともに



第1分科会（3月16日）



第2分科会（3月17日）

に、指導者・移動手段の支援方法など、持続可能な体制への検討を望みます。

また、駅伝、スキー、野球など、選手の皆さんの全国での活躍は多くの感動を与えてくれました。スポーツ派遣費補助金について、今後も継続的な予算確保を望むとともに、ふるさと納税を活用した取り組みなど、全国大会などへの参加に要する諸費用に対し、支援の充実に向けた取り組みを望みます。

■訪問看護事業特別会計

訪問看護は出向く医療として今後ますます利用者が増えると予想されます。状況に応じて必要な人材や備品の確保に対応し、事業が展開されることを望みます。

■水道事業会計

漏水対策に万全を期し、漏水の早期発見と早期修繕による給水量の無駄を最小限にするなど、さらなる有収率の向上を図っていただきたい。また、料金引き上げが生かされるような経営改善に努めていただきたい。

■簡易水道事業会計

給水人口の減少が予想されます。課題と対応策を明確にして、今後も効率的で安定した経営ができるよう努めていただきたい。水道事業会計と同様、漏水対策と料金引き上げが生かされるよう経営改善に努めていただきたい。

■下水道事業会計

今後も効率的で安定した経営ができるよう努めていただきたい。



第3分科会（3月20日）

令和5年度予算の詳細は、「ホームページ」や「市報4月10号」をご覧ください。



新年度予算に対する 討 論



詳細は、3月定例会最終日の録画中継をご覧ください。



▼反対

憩いの場を守り自然の芸術祭へ地方公共団体は、住人福祉の向上を図ることを基本とするとしています。この立場から、議会、行政が役割を発揮して、市民の暮らしを豊かにして行くことが重要です。

金沢市の21世紀美術館と肩を並べようとするのではなく、当

●賛成

市の豊かな自然の中に点在する作品群を生かし地域活性化と事業費の抑制を求めます。
(鈴木 和雄 議員)

令和5年度新年度予算に賛成
市の理念「選ばれて住み継がれるまち」を貫いたうえで、「第8回・大地の芸術祭」「とおかまち雪まつり」などの成功をフックに、改めて日本全国に向けて十日町市の魅力を知らしめ、海外を含めさまざまな場所からここに人が集まって賑わいをつくり、市民ひとりひとりが発展していくための施策であることが評価します。

(関口 立之 議員)

ココが聞きたい! 一般質問

一般質問は、議員個人が問題意識を市政に投げかけ、市の見解を直接求めることができる唯一の機会です。今回は、12人が私たちの生活に関わることについて質問をしました。

質問議員	質問事項	ページ	質問議員	質問事項	ページ
星名大輔	温浴施設の振興について	4	高橋俊一	市職員の部署別就業働き方と市役所のデジタル化について	7
小林正夫	伝統文化継承と千手温泉サウナ室改善、議員定数について	5	滝沢繁	原子力災害、無事避難することが出来るのかについて	8
山家悠平	空き家、廃棄物の有効利用、サルナシ栽培の振興について	5	嶋村真友子	未来につなげるオーガニックビレッジをめざして	8
鈴木祐一	とおかまち市の使う燃料費・電気代の状況と利雪について	6	滝沢貞親	「明石の湯」廃止で行政が行うべき手続と進め方について	9
富井春美	明石の湯は閉館ではなくさらなる充実を求める	6	鈴木和雄	市民が主体の芸術祭へ・市美術展は鑑賞しやすい会場で	9
大嶋由紀子	明石の湯閉館問題と学校給食について	7	福崎哲也	市長の想う大地の芸術祭と明石の湯の閉館について	10



温浴施設の振興について

星名大輔 議員



質問 近年のサウナブームおよび市内のサウナ施設に対する認識について伺う。

答弁 近年のサウナブームは第3次サウナブームと呼ばれ、2019年にサウナの魅力にスポットを当てたテレビドラマが放映されたことをきっかけに、若い世代を中心に広がったと聞いています。過去には1964年の東京オリンピックの際、フィンランド選手団がサウナを持ち込んだことが注目された第1次ブーム、そして1990年代に入り、スーパースキー場等へのサウナ設置がきっかけとなった第2次ブームがあったようです。サウナの効用については、サウナと冷水浴を交互に繰り返す温冷交代浴と呼ばれる方法によって、血管の収縮が促され、体が温まると言われています。そのほか業界団体の公式ホームページでは、交代浴による温度変化が自律神経に刺激を与え、不眠症の改善など複数の効用があると紹介されています。また、サウナには乾式湿式、フィンランド式のほかにもさまざまなタイプがあります。入浴方法も多様であり、手軽に設置できるテントサウナなどは県内でもレンタルできることから、温浴施設と連携したイベントの開催等の可能性についても検討をしていきたいと考えています。市内のサウナ施設ですが、明石の湯には乾式と湿式が1つずつあり、千年の湯とミオンなかさと、雲海は乾式サウナを設置しています。その中でも、ミオンなかさとのものが比較的面積も広く好評をいただいています。今後は、付加価値を持ったタイプのサウナの設置や既存のサウナの拡充、豪雪地を活かし水の代わりに雪の中で体を冷やすなど、キャンプ場でのアウトドアサウナの展開等魅力的なサウナの設置に向けて検討を行います。



「千年の湯の家族風呂」手すりを設けてバリアフリーですので、介護を必要とする方もご利用いただけます。



伝統文化継承と千手温泉サウナ室改善、議員定数について

小林 正夫 議員



質問 ハッピーマンデー制度により祝日の1月15日の成人の日が変動され、統一されてきた小正月行事が分散され、地域の行事や祭りが失われた。地域活力の向上の意味から、元に戻していただけよう市として取り組みないか。

答弁 地方公共団体が地方自治法に基づき、独自に特定の日を休日と定める方法がありますが、広く住民の理解を得ること、総務大臣と事前の協議を行うことなど、ハードルが厳しく設定されています。当市が独自に1月15日を休日にするのは簡単なことではありません。また特定の日を休日とするために、国会の議決を経て法律を改正する方法もあります。先日、自民党の有志議員の皆さんが、1月15日を伝統行事継承の日として休日にする決議を文部科学大臣政務官に手渡したという報道がありました。この決議が早期に実現することを期待し、今後の動向を注視していきます。

質問 千手温泉は開業以来、業績も上がり親しまれている。明石の湯が閉館となれば、更に集客の増加が見込まれる。改善策を望むが。

答弁 千手温泉千年の湯のサウナは、高付加価値化並びに集客力を高める上



小正月のほんやら洞づくり

で大変有益なものと認識しています。サウナ室の改善については、施設の構造等を十分に調査し、指定管理者と調整を行いながら検討を進めます。

質問 十日町市においては人口減少が続くが、大胆な定数削減は図れないか。

答弁 議員定数については、人口のみならず、面積や市の成り立ち、また財政上の需要額等さまざまな要素を踏まえ決められるものと認識しています。議員の皆さまからは今ほどの点を含め十分に議論していただき、結論が出されるものと期待しています。



空き家、廃棄物の有効利用、サルナシ栽培の振興について

山家 悠平 議員



質問 空き家の民泊への改修に市から補助は出ないのか。

答弁 ふるさと帰郷Uターン支援制度の新たな取り組みとして、空き家バンクに登録されている空き家を取得した場合については、取得費の補助上限額を20万円から50万円にかき上げし、空き家バンクの利用促進を図ります。引き続き、空き家の有効活用に向けた取り組みを進めてまいります。

質問 十日町地域の廃棄物の有効利用について市の認識は。

答弁 市内で発生する廃棄物を資源として有効活用していくことは、未来に向けてとても大切な取り組みであると認識しています。豚ふん、キノコ廃菌床、生ごみ、下水汚泥など地域で発生する廃棄物については、引き続き「熱」を中心としたエネルギー利用の拡大や、循環利用促進を目的とした市内での堆肥生産の可能性など、さらなる有効利用に向けた研究を進めていきたいと考えています。

質問 さるなし・こくわサミット開催への市の支



サルナシの実

援は。

答弁 開催経費に対する補助金を令和5年度予算に計上しています。本サミットを契機に、さるなしの栽培技術向上や地域振興が図られるよう、新潟県JA十日町などと連携しながら、支援を続けていく所存です。

質問 十日町市で果実酒特区取得はできないのか。

答弁 果実酒特区に認定されても販売が禁止されており、食事のときの提供や無償のお土産用のみ許されています。取り組み方が本当にいいのか見極め、検討したいと考えています。



とおかまち市の使う燃料費・電気代の状況と利雪について

鈴木祐一 議員



質問 昨年から燃料・電気代の高騰は大変と思うが、本庁舎についてはどのような状況か。更に値上げがあった場合の対応についてはどんなお考えか。

答弁 電気料は令和3年度に比べ、プラス60・7%となっています。庁内では既に、ノー残業デーの徹底、会議等の分散開催、照明のLED化等を実践し、2月末時点までの本庁舎電力使用量比で、昨年度同時期より11%の削減効果がありました。しかし、今後も状況が変わらない場合には、十日町情報館での休館日拡大のように、市民サービスに影響のある対応も検討しなければならぬと考えています。また、公共施設の統廃合や事務事業の見直しの継続等も含め、引き続き必要な対策を講じていきたいと考えています。

質問 当市は雪を利用した夏場のエネルギー活用も可能と思われませんが、利用、研究についてはどうお考えか。

答弁 これまでの取り組みやほかの地域での事例を踏まえると、初期投資額やメンテナンス費用に対する節電効果、雪貯蔵スペース確保、空調の快適性等課題が多く、未だ利用の促進が図れる環境ではないと考えています。今後も地域の特性を生かし、より効果が発現



賑わうメイン会場

できる再生可能エネルギーの利用促進について研究と検証を進めていきます。

質問 雪まつりについて、3年ぶりの開催となり、土曜一日でしたが来場者も多く、本来のポテンシャルを感じさせられました。来年についてどのようなお考えかおたずねいたします。

答弁 今回の雪まつりについて、いろいろご意見をいただいています。課題を整理し、コロナのない環境での開催を期待しながら、より一層市民の皆さまに楽しんでいただける雪まつりとなるように、さらにしっかりと取り組んでまいります。



明石の湯は閉館ではなくさらに充実を求める

富井春美 議員



質問 明石の湯の収支決算について①美術館委託料の内訳はどのようなになっているか②美術館の光熱水道費はどこに支出されているか③指定管理とは何か④明石の湯の利用者数、食堂、売店の売り上げはいくらか、伺う。

答弁 ①10年間の美術館委託料1億7815万8623円の内訳は、美術館入館料1億3869万8623円、ク

ロステンに支払っている指定管理料の中からNPOへ再委託分として3946万円です。②美術館分の光熱水費は、美術館を経営しているNPOからキナ

ーレの指定管理を受けている地場産業振興センターへ支払われ、地場産業振興センター分と合算し、東北電力、水道局へ支払われます。③指定管理とは、市が直営でやるよりも、民間のノウハウを活用して効率的な施設運営をしていただく制度と解釈しています。④入場者数は、令和4年度までの中間数値で約223万人、食堂、売店売上げは、平成15年度から令和3年度まで8億7700万ほど、温泉利用料は、同じく平成15年から令和3年度まで、9億2400万円ほどです。

質問 明石の湯閉館について市民から「唐突である」「憩いの場をなくすな」



市民の憩いの場「明石の湯」

など怒りの声が上がっている。明石の湯閉館をやめる考えはないか。

答弁 今回、いろんな議論やお手紙をいただいた中で、中心市街地にお住まいの高齢者の皆さんに対しての視点がちよつと欠けていたのではないかと思います。高齢者を中心とした福祉的な温浴施設を設置できないか、担当課に検討するように指示を出しています。また、そうした温浴施設や憩いの場などを提供したい、運営したい事業者等がいっぱいあれば、喜んで市としてご支援をすることもできるのでないかと考えています。



明石の湯閉館問題と学校給食について

大嶋由紀子 議員



質問 ①32億円かけて造ったキナレ、これを市長は本来のあるべき姿にとおっしゃいましたが、それは明石の湯を失くし、美術館にするということであるのでしょうか。②今後の大地の芸術祭の方向性について伺います。

答弁 ①このステージはやはり大地の芸術祭のステージとしてふさわしいものにするべきだという思いがずっとありますし、そういう中で少しずつではありますが、ご理解いただいて、その方向で整備をしてきました。今回、私の今度の任期中の中で捉えると、もう最終的な形にいいようになり得るという気持ちでご提案をさせていただくわけでありまして、それについてはぜひご理解いただきたいと思います。②2020年に文化観光推進法ができ、一昨年の11月には経団連のパートナーとして選ばれました。そのことを十日町市の市民の皆さんの喜びと、そして十日町市全体、そして越後妻有全体の発展にしっかりとつながることが我々のこれからの大きな仕事だと感じており、新しい

国策に沿った大きなイベントとして、今後、大地の芸術祭はそうした方向性にしっかりと寄り添う中で歩みを進めていくべきだと思っています。

質問 学校給食費の改定について話がありました。少しの値上げで質が保たれるのか心配です。また、給食センターの人材不足について伺います。

答弁 4円程度のコスト削減のものを含めますと実質的には14円から17円の値上げになり、栄養価、味やボリューム等の質の確保にしっかりと努めてまいりたいと考えています。また、委託事業者において、改めてさまざまな媒体を活用して募集をしたところ、多くの方からご応募をいただき、必要な人員を確保することができました。



多くの方に愛されている「明石の湯」



市職員の部署別就業働き方と市役所のデジタル化について

高橋俊一 議員



質問 当市においては新型コロナウイルス感染症にゆれる災害状況の中でも、限られた職員数により一定の業務を遂行してくれているが、①近年の男女別職員数と②会計年度任用(非正規)職員の男女別人数及び平均年収について伺う。

答弁 ①令和4年4月1日現在、507名の正職員がおり、男性が324名、女性が183名です。②令和2年度から4年度までに職員数に大きな増減のあった市民福祉部での会計年度任用職員数について申し上げますと、令和2年度で男性9人、女性99人で計108人、令和3年度では男性12人、女性123人で計135人、令和4年度は男性11人、女性122人で計133人です。会計年度任用職員の平均年収は、1日6時間勤務の1年目の職員で約147万円、2年目の職員が約150万円、3年目の職員が約153万円です。

質問 当市もデジタル標準化に向かって取り組んでいるが、①デジタル化推進の先導役となる職員への研修や受け入れは進んでいるのか②デジタル化に対して要となるマイナンバーカードの現状と、市独自の関連付けを伺う。

答弁 ①デジタル技術により効率化が図られる業務もあることから、AI-

企業調査による管理職に占める女性の割合

- ・部長相当職 7.8% (令和2年度 8.4%)
- ・課長相当職 10.7% (" 10.8%)
- ・係長相当職 18.8% (" 18.7%)

※厚生労働省「令和3年度雇用均等基本調査」から

会計年度任用職員数(全国)

- ・女性 476,403人 (76.6%)
- ・男性 145,903人 (23.4%)

※総務省「地方公務員の会計年度任用職員等の臨時・非常勤職員に関する調査結果」(令和2年4月1日現在)から

高橋俊一議員作成



原子力災害、無事避難すること
が出来たのかについて

滝沢 繁議員



質問 現在の避難計画では、UPZ※住民は放射性物質放出後に避難することになっているが、①被ばくを前提と

画に被ばく限度を示すべきでないか。

答弁 ①原子力発電所の状況や放射性物質が放出される可能性などを踏まえて、避難や屋内退避等の指示を出します。②避難時の被ばく量については、できるだけ少なくすることとしています。これ以下に抑えるという具体的数値目標はうたつていません。

質問

①避難をサポートする人は誰か。

②その時の契約は示されているのか。

③被災した時の補償は受けられるのか。

答弁 ①自治体職員、警察、消防、自衛隊などの公務員、ほかに保育所、学校関係の皆さま、自主防災組織などの皆さまが携わることになっています。

②公務員は勤務規程等で災害が起きたときの従事は仕事の一環ですが、民間や自主防災組織等の皆さまは契約等に基づいておりません。自助、共助の中でお手伝いいただくことになっていきます。③被ばくしたときの補償等については、市としての対応を今明言できないと考えています。

質問 今の避難計画では安全に避難で



柏崎刈羽原子力発電所30km圏内（UPZ）議員研究会
冊子「30km圏内の7つの自治体にも再稼働の事前了解権を！」より引用

きない。住民を守るため、市長判断として再稼働反対の意見を訴えていただきたいが、いかがか。

答弁 知事が新潟県のこういった問題にしつかりとお答えする立場にあります。知事に対して十日町市の意見をします。つまりお伝えしていく責務もあると思いますし、そのときには色々な方法を使っ駆使して、市民の皆さまの考えを集約した中で、行動を取らなければいけないと思っています。※UPZ＝原発から概ね5〜30キロメートル圏内の緊急防護措置を準備する区域。市内では下条地区、川西地域・松代地域の一部



未来につなげるオーガニック ビレッジをめざして

嶋村真友子 議員



質問 ①市内有機農家の取り組み、農産物の生産量は。②エコファーマーが減っている要因は。

答弁 ①有機JAS認定を受けて有機農産物の生産に取り組んだ市内農業者は19名、全て水稲で、生産面積は28・7ヘクタール、生産量は約98トンです。②個々の聞き取りは特にはしていませんが、エコファーマーに認定されたとしても、あまりメリット感がないというようなことを聞いています。

質問 オーガニックビレッジ宣言についてのは。

答弁
オーガニックビレッジを宣言す

るためには、農業者、事業者、地域内外の消費者また専門家等から意見聴取を行う検討会の開催と併せ、有機栽培の実証圃の設置や、団地化などの試行的な取り組みを行う実施計画が必要となり、地域内の合意形成においてハードルが高く、当市の現状では、時期尚早と考えています。まずは、有機農業の前提となる環境保全型農業の取り組みを着実に増やすため、JAをはじめとする集荷事業者等と連携し取り組んでいきたいと考えています。

質問 ミッション型地域おこし協力隊制度で有機農業のコーディネーターを



新潟市内の事業者が行っているつなぐ便の
有機野菜セット

配置することは可能か。

答弁 有機農産物を使う側と作る側をつなぐコーディネート業務を受けてもらう企業や団体があれば、そういったところからミッション型地域おこし協力隊制度を活用してもらうことは可能と考えます。

質問 有機の推進は移住やインバウンド誘致に効果的だと思うが、市長の考えは。

答弁 指摘のとおり、環境に優しいとか、有機農業を推進しているということ、人を引きつける一つの要素になり得ると思います。



「明石の湯」廃止で行政が行うべき手続と進め方について

滝沢 貞親 議員



質問 明石の湯閉館および美術館への移行準備は、いつから始めたのか。

答弁 令和4年5月下旬から明石の湯の廃止に向けた方向性を決定し、それに伴う課題整理を開始。7月には北川ディレクターと協議をし、美術館として活用する方策の検討を始めました。

質問 準備開始時点で重要と考えられる市民の声を聴く意見集約を、なぜ行わなかったのか。

答弁 事業規模や財源、雇用の問題などが決まらないうちに公に出すわけにはならないと判断したためです。

質問 意見集約をなぜ十日町地域振興連合会（7地区）に限定したのか。

答弁 明石の湯に最も身近な利用者の声を伺うために、明石の湯が所在する十日町地域振興連合会に意見具申を求める手続を進めました。

質問 有志市議で実施した「市民アンケート」結果をどう受け取ったのか。

答弁 市民の皆さまのキナレや明石の湯に対するお気持ちをしつかりと読ませていただきました。私どもも学び、市民の皆さまにもしつかりと実際の状況を説明する機会も増え、非常に有意義なものだったと思います。またそういった意味で、このアンケートを実施



していたいただいた議員の有志の皆さんにも感謝したいと思う次第です。

質問 従業員の雇用や生活権がかかっている課題に対しての取り組みは進んでいるのか。

答弁 地場産業振興センターから個別に面接を行っていますし、私ども市からも三セク温泉施設を中心に職業のあっせんを行い、順調に話が進んでいます。ただ、これを機に別の仕事に就きたいという方も相当数おられますので、その方たちはご自分で仕事のほうを探しているとお聞きしております。



市民が主体の芸術祭へ・市美術展は鑑賞しやすい会場で

鈴木 和雄 議員



質問 ①大地の芸術祭のこれまでの実行委員会事業とそれ以外の事業費や北川氏への委託料の総額はいくらか②実行委員会総括報告書では「今回展以上の事業拡大は難しい」としているが、5回展から7回展と回を重ねる毎に事業費が膨らんでいる。報告書はどういう役割を果たしてきたのか。

答弁 ①決算が終わっている1回展から7回展までの約21年間の実行委員会事業費は総額で39億5千万ほどです。事業費の8割を超える額は国、県からの補助金、寄附、協賛金、パスポートの販売収入などの外部からいただいている財源です。実行委員会外の予算では、合併後の4回展から7回展での事業費総額は44億2千万円ほどで、この財源についても、国の交付金や優良起債等を活用し、多くの外部財源を確保した上で実施しています。ディレクター委託費は、1回展から7回展までの約21年間で1億7千万円ほどとなっています。②ご指摘のように維持管理費が増えていることはそのとおりです。で、順次見直しを始めています。

質問 市美術展は段十ろうで開催されていますが、県展会場（中里アリーナ）のように、より多くの市民が鑑賞出来るような環境づくりができないか。

答弁 市展運営委員会、来場者や出品者に対し会場や内容についてアンケートを行った結果、段十ろうを希望する回答が多数を占め、またパネル運搬、設置、運営上の利便性なども考慮した結果、今年度は段十ろうで開催することになりました。令和6年度以降についても、段十ろう以外での開催の可能性も含め、引き続き運営委員会と協議をしていただくことになっています。市としても、持続可能な展覧会として発展していけるよう、内容を充実していきたいと考えています。

ECHIGO-TSUMARI ART FIELD 大地の芸術祭実行委員会事業費

	項目	第1回 (2000)	第2回 (2003)	第3回 (2006)	第4回 (2009)	第5回 (2012)	第6回 (2015)	第7回 (2018)	第8回 (2022)
入	国庫補助金	0	0	2,803	2,969	108,000	227,993	249,900	
	県補助金	238,148	220,500	106,400	0	0	0	0	
	市町村負担金	158,766	147,000	169,250	71,329	100,000	100,000	120,000	
	寄付・協賛金等	13,000	2,440	213,468	216,838	117,826	138,301	130,653	
	その他(パスト等)	64,138	65,457	179,041	291,055	163,208	157,909	169,167	
	合 計	474,052	435,397	670,962	582,191	489,034	624,203	669,720	
出	ディレクター委託費	30,000	30,000	27,000	20,000	20,000	20,000	20,000	6月議会決定
	芸術祭運営委託費	329,325	298,629	522,225	546,298	378,700	525,964	560,900	確定
	その他	114,727	106,768	121,737	15,893	90,334	78,239	81,000	
	基金積み立て	0	0	0	0	0	0	7,820	
	合 計	474,052	435,397	670,962	582,191	489,034	624,203	669,720	

大地の芸術祭実行委員会作成



市長の想う大地の芸術祭と 明石の湯の閉館について

福崎 哲也 議員



質問 2009年以降にキナーレを大規模リニューアルしたときになぜ一緒に明石の湯も手を付けなかったのか。

答弁 今回20年たつて起債の償還が終わりました。借金の返済が終わるところが一つのポイントかなと思いつつと見ていました。

質問 当初の説明では、入込客減少、トータル的にマイナスという話がメインだったが、今議会の市長答弁では入込客減少や赤字の話が出ていない。そもそも明石の湯の黒字・赤字は関係なく、明石の湯廃止と進む考えか。

答弁 今回のコロナで今まで13万人まで集客があったものが7万人台まで落ち、その戻りがほかと比べると非常に悪いこと、もう一つは明石の湯の経営を地場産業振興センターに指定管理させていただけで、20年しているわけですが、あれだけ頑張ってくれても、なかなか赤字が解消できないんだなという思いが非常にあり、これが決断におけるとても大きい2つの要素です。

質問 明石の湯閉館は、市民、地域にとって大きな問題である。なぜ市長自ら地域説明に入ろうとしないのか。

答弁 議会において、3月8日に提案させていたでいて、一般質問をお受け



キナーレ「明石の湯」

して、委員会審議、議決と、そういう大きな流れの中でご説明するのが、議会制民主主義において、あるべき姿ではないかと思っています。
私は本当にいろんなご意見をお聞きする中で、いろんな対策をまた考えていかなければならないと最初から思っていました。実際にそういう建設的な議論が議会外という形ではありましたが、できたのかなと思っており、そういう中でご提案、また今後の方針をこの議会の場においてしっかりと自分の思いをお伝えすることができたのではないかと思っています。

報告します! 令和4年度 政務活動費執行状況報告

政務活動費は、十日町市議会議員の調査研究に必要な経費の一部として、十日町市議会政務活動費の交付に関する条例に基づき、交付申請を行った会派※に対し市から交付されます。会派に所属する議員1人につき年額15万円を、人数分一括で交付し、残金が生じた場合は市へ返還されます。 ※所属議員1人の場合も含む。

令和4年度

(単位: 円)

会派	かがやき 7人	伸暢 4人	令和の風 3人	日本共産党 十日町市議員団 3人	新成会 3人	だいち 1人	みんなの 笑顔 1人	つぼみ 1人	虹の輪 1人	合計
当初交付金額	1,050,000	600,000	450,000	450,000	450,000	150,000	150,000	150,000	150,000	3,600,000
調査研究費	899,005	518,371	335,240		450,000	50,854				2,253,470
研修費	146,500			46,000			71,020	125,000	67,585	456,105
広報費										0
広聴費									3,600	3,600
要請・陳情活動費				39,750		35,410				75,160
会議費										0
資料作成費				44,421						44,421
資料購入費				22,950				25,000	12,960	60,910
人件費										0
事務所費										0
合計	1,045,505	518,371	335,240	153,121	450,000	86,264	71,020	150,000	84,145	2,893,666
残額(返還額)	4,495	81,629	114,760	296,879	0	63,736	78,980	0	65,855	706,334

【政務活動費使途基準】

項目	内容
調査研究費	会派が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に要する経費
研修費	会派が研修会を開催するために必要な経費及び団体等が開催する研修会への参加に要する経費
広報費	会派が行う活動及び市政について住民に報告するために要する経費
広聴費	会派が行う住民からの市政及び会派の活動に対する要望、意見の聴取、住民相談等の活動に要する経費
要請・陳情活動費	会派が要請及び陳情活動を行うために必要な経費
会議費	会派が行う各種会議、団体等が開催する意見交換会等各種会議への参加に要する経費
資料作成費	会派が行う活動に必要な資料の作成に要する経費
資料購入費	会派が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費
人件費	会派が行う活動を補助する職員を雇用する経費
事務所費	会派が行う活動に必要な事務所の設置及び管理に要する経費

政務活動費による活動の一部を紹介します。

だ い ち



じ地域を誇れることとなります。

だいち（小林正夫）は、教育は学校や家庭に任せただけでなく、児童生徒達から地域の実情や伝統文化などを知っていただき協力を願いながら、楽しくをモットーに活動しています。

育・協育との思いで活動を続けています。また、人口減少や高齢化で地域活力が失われつつある中、子供たちの思いやお年寄りの知恵が地域資源やさまざまなイベント活動を通じて「楽しく元気な町づくり」となるように活動しています。

サツマイモの植付け・収穫また、味噌造りや祭りなどを通じて地域とのかかわりを深め成長し、仲間を大切にする事が未来の家庭づくりに繋がり、少子化対策の要と思つています。友達を思いあうことがいじめや不登校の防止にもなり、また植樹などを通じて里山など自然の素晴らしさを感じ



つ ば み



視察活動としては令和

4年3月24日（木）から25日（金）まで、国会視察と埼玉県人間市文化創造アトリエ「AMIGO!」さいたま市「大宮盆栽美術館」を視察しました。無党派であるので、この時は同じ無党派の小林正夫議員と二人での視察となりました。

1日目の国会視察では、要請陳情活動（休日法改正要望…小正月行事）と地元選出国会議員事務所訪問、予算委員会傍聴を行い、国会の雰囲気を感じてきました。2日



目は前述の埼玉県内2カ所の視察を行いました。特に印象深かったのは、入間市の「AMIGO!」でした。元繊維工場をリニューアルして、地場産業の歴史や文化を発信していく拠点として設立された施設でした。大金をかけることなく、地元の方々がアイデアを出し合って作った施設らしく、小さい中にも手作り感のある暖かい展示やワークショップなど、十日町市でもやれる規模としても参考になるものでした。

議員2年目、念願の外へ出られる環境に感謝しながら、さまざまな研修会に参加してきました。5月中旬に開催された「全国地方議員サミット2022」では、完全ペーパーレス、資料はウェブサイトから閲覧という最新のスタイルでした。事例発表では、北海道鷹栖町議会の「一般質問でまいたタネを市民と共有し議会の政策形成へつなげる」と題し、議員全員さらには傍聴者も議員一人ずつに対し評価表をつけて質の向上に繋がっているというものでした。12月〜2月にかけては数

虹 の 輪



回、新潟市にてオーガニック給食の講演会にて、県内外での先進事例を学んできました。どちらの会でも行政、議員、市民活動家、など多くの人との新しい繋がりを作ることができました。

このような視察内容や議会報告などを含めた公聴会を開催しています。これからも、市政や議会が身近に感じられるような場を増やしていきたいと思っています。



全国地方議員サミット2022

3月定例会

● 議会をPick-Up!

令和5年第1回定例会
会期 3月8日～27日 (20日間)

審議の結果は、12ページ下段から13ページに掲載

3月の定例会は、市長提出議案50件、議会提出議案3件を審議しました。

Pick-Up 01

一般会計補正予算〔第11号〕

(主な事業および内容)
● プレミアム商品券発行事業

地域経済の活性化と物価高騰の影響を受けている市民の安定した消費活動のため、プレミアム商品券を発行します。プレミアム率などの詳細は、実行委員会との協議により決定します。

● 住宅省エネリフォーム支援事業

市民の経済的負担を緩和するため、自ら居住する住宅を市内業者を活用して省エネリフォームする場合に、その費用の一部を補助します。

Pick-Up 02

人事議案

任期満了に伴う人事議案が提出され、同意しました。

【教育委員会委員】

川崎 正男氏
【固定資産評価審査委員会委員】

高橋 俊雄氏
市川 健司氏
長谷川 義明氏

Pick-Up 03

条例の継続審査

● 十日町市里創プラン十日町ステージ条例の一部を改正する条例制定(案)
十日町地域広域事務組合から十日町市に管理を委託された、里創プラン十日町ステージ(越後妻有交流館キナレ)の事業のうち、明石の湯の利用に関する事項を削除する条例改正案が継続審査となりました。

審査を付託された産業建設常任委員会(委員長・村山達也議員)の審査の中で、「市が利用者に行ったアンケートの結果が未だ公表されていない」「明石の湯を廃止した後の美術館の明確な計画が示されていない」「明石の湯の代替施設である市街地における高齢者の福祉的な温浴施設の明確な整備計画が示されていない」「明石の湯廃止の発表が唐突で、市民の理解を得るための時間が十分でない。議員、市民に対し説明が不十分であり、

丁寧な説明を行い、納得した形で進めて行く上でも、もつと議論が必要である」との意見があり、継続審査について、委員会は賛成多数。本会議では記名投票を行い、賛成多数(賛成12人、反対11人)で継続審査が決まりました。



本会議での記名投票の様子(3月27日)



産業建設常任委員会での審査(3月17日)

賛否等の状況

賛否が分かれた議案のうち、起立採決等により個々の賛否が明らかな議案について掲載。(○：賛成、×：反対、－：欠席)
※鈴木一郎議員は議長職のため、特別多数議決以外の議案については表決(賛成・反対の意思表示)権はありません。

議案番号等	議決結果	賛成	反対	かがやき						伸 しん 暢 ちよう				令和の風			日本共産党 十日町市議団			新 しん 成 せい 会 かい			無会派				議長
				村山達也	富井高志	水落静子	中林寛暁	山家悠平	遠田延雄	高橋俊一	鈴木祐一	関口立之	吉村重敏	根津年夫	山口康司	星名大輔	鈴木和雄	滝沢繁	富井春美	福崎哲也	宮沢幸子	小嶋武夫	小林正夫	大嶋由紀子	滝沢貞親	嶋村真友子	鈴木一郎
16	原案可決	22	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
18	(継続審査)	12	11	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	○	×	×	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	※
19	原案可決	18	5	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	※
24	原案可決	19	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	※
40	原案可決	19	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	※
44	原案可決	19	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	※
45	原案可決	19	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	※

3月定例会 議決結果

議案番号等	件 名	付託委員会	採決状況	議決結果
市 長 提 出 議 案	1 教育委員会委員の任命（川崎 正男〈かわさき まさお〉氏）	—	全員賛成	同 意
	2 固定資産評価審査委員会委員の選任（高橋 俊雄〈たかはし としお〉氏）	—	全員賛成	同 意
	3 固定資産評価審査委員会委員の選任（市川 健司〈いちかわ けんじ〉氏）	—	全員賛成	同 意
	4 固定資産評価審査委員会委員の選任（長谷川 義明〈はせがわ よしあき〉氏）	—	全員賛成	同 意
	5 工事請負契約の締結（水沢小学校長寿命化改修工事〈建築本体〉）	—	全員賛成	原案可決
	6 こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定	—	全員賛成	原案可決
	7 十日町市シェアハウス条例の一部を改正する条例制定	総務文教	賛成多数	原案可決
	8 十日町市個人情報の保護に関する法律施行条例制定	総務文教	全員賛成	原案可決
	9 十日町市情報公開条例の一部を改正する条例制定	総務文教	全員賛成	原案可決
	10 十日町市情報公開・個人情報保護審査会条例の全部を改正する条例制定	総務文教	全員賛成	原案可決
	11 十日町市税条例の一部を改正する条例制定	総務文教	全員賛成	原案可決
	12 十日町市新規就農者等技術習得管理施設条例の一部を改正する条例制定	総務文教	全員賛成	原案可決
	13 十日町市地域集会施設等条例の一部を改正する条例制定	総務文教	全員賛成	原案可決
	14 十日町市立学校給食センター条例の一部を改正する条例制定	総務文教	全員賛成	原案可決
	15 十日町市博物館条例の一部を改正する条例制定	総務文教	全員賛成	原案可決
	16 十日町市体育施設条例及び十日町市都市公園条例の一部を改正する条例制定	総務文教	賛成多数	原案可決
	17 十日町市総合福祉センター条例の一部を改正する条例制定	産業建設	全員賛成	原案可決
	18 十日町市里創プラン十日町ステージ条例の一部を改正する条例制定	産業建設	—	（継続審査）
	19 十日町市地域活性化使用料施設条例の一部を改正する条例制定	産業建設	賛成多数	原案可決
	20 十日町市松代棚田ハウス条例の一部を改正する条例制定	産業建設	全員賛成	原案可決
	21 十日町市農林産物加工直食直売等施設条例を廃止する条例制定	産業建設	全員賛成	原案可決
	22 十日町市都市公園条例の一部を改正する条例制定	産業建設	全員賛成	原案可決
	23 十日町市簡易水道及び小規模水道給水条例の一部を改正する条例制定	産業建設	全員賛成	原案可決
	24 十日町市寝たきり老人等介護手当支給条例の一部を改正する条例制定	厚生	賛成多数	原案可決
	25 十日町市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定	厚生	全員賛成	原案可決
	26 十日町市高齢者コミュニティハウス条例の一部を改正する条例制定	厚生	全員賛成	原案可決
	27 十日町市児童遊園地条例の一部を改正する条例制定	厚生	全員賛成	原案可決
	28 十日町市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定	厚生	全員賛成	原案可決
	29 十日町市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定	厚生	全員賛成	原案可決
	30 十日町市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定	厚生	全員賛成	原案可決
	31 令和4年度十日町市一般会計補正予算（第11号）	—	全員賛成	原案可決
	32 令和4年度十日町市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	—	全員賛成	原案可決
	33 令和4年度十日町市国民健康保険診療所特別会計補正予算（第2号）	—	全員賛成	原案可決
	34 令和4年度十日町市訪問看護事業特別会計補正予算（第3号）	—	全員賛成	原案可決
	35 令和4年度十日町市後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）	—	全員賛成	原案可決
	36 令和4年度十日町市介護保険特別会計補正予算（第4号）	—	全員賛成	原案可決
	37 令和4年度十日町市水道事業会計補正予算（第4号）	—	全員賛成	原案可決
	38 令和4年度十日町市簡易水道事業会計補正予算（第4号）	—	全員賛成	原案可決
	39 令和4年度十日町市下水道事業会計補正予算（第4号）	—	全員賛成	原案可決
	40 令和5年度十日町市一般会計予算	予算審査特別	賛成多数	原案可決
	41 令和5年度十日町市国民健康保険特別会計予算	予算審査特別	全員賛成	原案可決
	42 令和5年度十日町市国民健康保険診療所特別会計予算	予算審査特別	全員賛成	原案可決
	43 令和5年度十日町市訪問看護事業特別会計予算	予算審査特別	全員賛成	原案可決
	44 令和5年度十日町市後期高齢者医療特別会計予算	予算審査特別	賛成多数	原案可決
	45 令和5年度十日町市介護保険特別会計予算	予算審査特別	賛成多数	原案可決
	46 令和5年度十日町市松之山温泉配湯事業特別会計予算	予算審査特別	全員賛成	原案可決
	47 令和5年度十日町市水道事業会計予算	予算審査特別	全員賛成	原案可決
	48 令和5年度十日町市簡易水道事業会計予算	予算審査特別	全員賛成	原案可決
	49 令和5年度十日町市下水道事業会計予算	予算審査特別	全員賛成	原案可決
	50 令和4年度十日町市一般会計補正予算（第12号）	—	—	撤回
議会 提出 議案	1 十日町市議会の個人情報の保護に関する条例制定	—	全員賛成	原案可決
	2 閉会中の継続調査の申し出	—	全員賛成	原案可決
	3 議員派遣	—	全員賛成	原案可決

■第6回委員会（1月20日）

今後の議会改革特別委員会における議論について議題とし、複数の委員から発言があった「議員報酬」を検討することについて協議を行いました。

協議の結果、27年前から据え置かれていた報酬額について、この額が適切か否か、市民への説明責任を果たす必要があることや、現在の議員活動、将来のなり手を見据え、一定の論理性を持つ適切な議員報酬を検討することを決しました。

■第7回委員会（2月16日）

「議員定数」について協議を行った結果、急激な減員は市政、議会運営に支障をきたす恐れがあり、段階的に移行すべきという意見、また現状維持が望ましいという意見を付したうえ、「18人〜19人」という意見が多数を占めたことを確認し、次回報告文面を取りまとめることを確認しました。

また、「議員報酬」については定数の議論を経た後に改めて検討することが了承されました。

■第8回委員会（2月27日）

「議員定数」について、特別委員会で検討した結果として、「現状維持が望ましい」、また「急激な減員は市政、議会運営に支障をきたす恐れがあり、段階的に移行すべき」という意見があったものの、「18人〜19人」という意見が多数を占める結果となった旨を議長に対して報告することを確認しました。

また、常任委員会の構成を含めた来期の議会運営について、十分な時間を確保して検討できるように、「本年6月定例会において」結論を出すことを報告内容に加え、議長に報告することに決定しました。

委員会終了後、特別委員会で確認した報告書を議長に手渡しました。



議長へ検討結果の報告を行う富井委員長（2月27日）

表紙写真について

今号の表紙は十日町高校写真部の作品です。

十日町高校写真部



十日町高校写真部は今13人で活動しています。見ている人が笑顔になれる写真が撮れるようこれからも頑張ります。

ラジオ「FMとおかまち」(78.3MHz)で
一般質問を放送しています！

一般質問をした当日、夕方7時から放送していますので、ぜひお聴きください。

インターネットで
本会議の様子を配信しています！



本会議の様を生中継・録画中継しています。ホームページからアクセスしてください。スマートフォン、タブレットでも！



十日町市議会

検索

市議会の詳しい情報は、
十日町市議会のホームページを
ご覧ください



あ
と
が
き

▼議会だより編集委員長として
市民の皆さまへ議会の事をお届け
でき感謝。
（水落静子）

▼いま、春爛漫。ふり注ぐ陽ざ
しのごとく輝ける十日町市であ
りますように！
（関口立之）

▼市民と議会を繋ぐ内容の難し
さと表紙依頼する高校生との出
会いに胸躍る。
（富井春美）

▼編集委員の仕事は母校への訪
問などもあり良い体験をさせて
いただきました。
（鈴木祐二）

▼とにかく、手に取って見てい
ただくためには、と思い活動し
た2年間でした。
（中林寛暁）

▼感謝の一句 年4回お届けで
きる喜びをかみしめながらの編
集会議2年間。
（嶋村真友子）

【お問い合わせ】

十日町市議会事務局

〒948-8501

十日町市千歳町3丁目3番地
市役所本庁舎3階

電話 025-757-3119

FAX 025-757-5999